

Waca.p

和歌山県文化情報誌
ワカピー Vol.120



劇団四季『コーラスライン』公演 …… 2

和歌山で逢いましょう …… 3

イベントスケジュール …… 4・5

和歌山県文化表彰受賞者 …… 6

感動発見！文化の「扉」 …… 7

ピックアップインフォメーション …… 8

舞台に生きるダンサーたちの熱いドラマ、舞台への祈り

劇団四季が贈る不朽の名作 ミュージカル『コーラスライン』 待望の和歌山公演決定

劇団四季が贈る不朽の名作であり、世界中から愛され続ける伝説の舞台『コーラスライン』。オーディションにすべてを懸けるダンサーたちの生き様に、自らの人生を重ね合わせたとき、明日を生きる力が沸き起こる感動のミュージカルです。和歌山公演を前に、劇団四季から届いたメッセージをご紹介します。

総公演2200回以上

ミュージカル『コーラスライン』は、ダンサーたちが実際に語った身の上話を基に、振付家のマイケル・ベネットがつづった作品です。豪華な装置も、きらびやかな衣裳もない、1本の白いラインが引かれただけの舞台。そこで語られるダンサーたちの告白と、純粹でひたむきな舞台への祈り。従来のミュージカルとは一線を画す、異色のバックステージ・ミュージカルです。

1975年のブロードウェイ初演以来、世代、国境を越えて、多くの観客の心を捉えてきました。劇団四季での初演は1979年。以来45年以上にわたって上演され、総公演回数は2200

回以上を数えます。

生きる力が湧く舞台

この作品は「四季ミュージカルの原点」ともいわれています。

まず、作品がいわゆる“スター”に頼らない構造を持っており、キャスティングは“実力”を重視して行えるということ。実際に、初演時は全キャストをオーディションで決定するという、当時としては異例の方法がとられました。

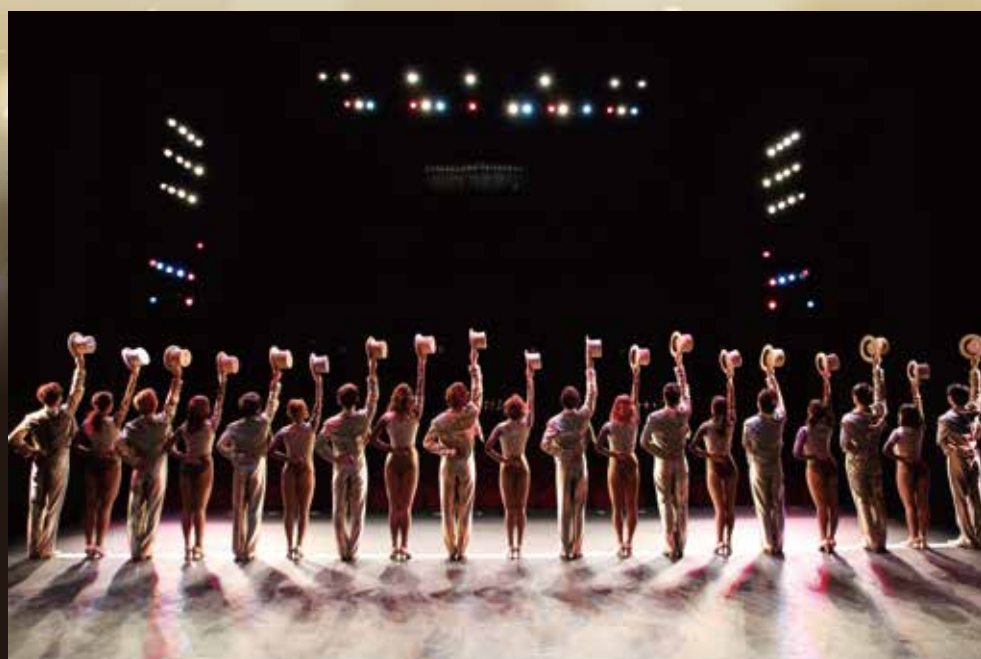
第二に、作品テーマが舞台に対する「祈り」であることが挙げられます。コーラスダンサーたちの生き様を通して、人生の生きる価値を伝えるストーリーは、まさに四季のためにあるような作品。そうして『コーラスライン』の

上演は「劇団四季ミュージカル」のクレジットを大いに高め、「作品主義」「アンサンブル重視」といった現在の四季のスタイルを確固たるものにしました。今でも数あるレパートリーにおいて、最も重要な作品の一つです。

時代を経て、場所が変わっても、ダンサーたちがひたむきに紡ぐ舞台への熱い祈りは変わりません。

不安と希望の間で夢を追ひ求めるダンサーたちのドラマは、自らの人生と重ね合わせ、共感していただける部分もあると思います。鳥肌が立つほどのダンスも必見です。明日を生きる力が湧いてくる感動の舞台へ、ぜひ足をお運びください。

(劇団四季)



※写真はこれまでの公演より



劇団四季ミュージカル 『コーラスライン』

12月17日(木)

開演 18:30 (開場 17:45)
和歌山県民文化会館大ホール

チケット情報など
詳しくは4・5ページをご覧ください

和歌山

wakayama

で逢いましょう

7月12日⑧、御坊市民文化会館で「ほんもののヴァイオリン体験」が開かれます。講師はアマービレフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターの井上隆平さん。楽器の魅力や指導への思いを聞きました。



身近な場所で 気軽に楽しく ヴァイオリン体験を

アマービレフィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター

井上 隆平
INOUE RYUHEI

京都市立芸術大学卒業後、アムステルダム音楽院を修了。京都府知事賞や第18回青山音楽賞など受賞歴多数。2021年にはパッハの無伴奏全曲演奏会を成功させるなど、ソリストとして国内外の名手や楽団と共演を重ねる。現在、アマービレフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターや神戸市室内管弦楽団副首席奏者、いずみシンフォニエッタ大阪のメンバーを務める。その一方で、乳幼児や高齢者までを対象としたトーク付き音楽会を独自に行っている。

——7月12日、和歌山県御坊市で行われる「ほんもののヴァイオリン体験」では、初めて、または、久しぶりにヴァイオリンに触れる方が参加されます。コンサートマスターというプロの視点から、ヴァイオリンの魅力についてお聞かせください。

美しい音色と幅広い音域をもつ楽器です。それゆえ、主要なメロディを演奏する一方、ハーモニーやリズムでの伴奏なども担えます。こうした多様な表現力を持つ点が魅力です。

——一般の方を指導される際に、特に大切にされていることや、心がけていらっしゃるものがあれば教えてください。

ヴァイオリンは顎の下で構えますから不安定な上、左右の手は全く別々の動きをするという難しさがあります。そのため、どうしても初めは力が入りすぎてしまうので、いかに脱力が大切かをお伝えする事を第一に心がけています。

——体験会の参加者に、どんなことを感じ、どのようなことを持ち帰ってもらいたいですか。

音を鳴らせた時、この楽器特有の繊細で伸び

やかな響きを、そして皆さんと合奏した時には、ハーモニーの心地よさをご体感して頂きたいです。

——地方で開催されるこのような催しが、地方の文化、および、今後のクラシック界にどのような影響を与えとお考えでいらっしゃいますか。

普段は縁遠いと思われがちなものも、身近な場所で気軽に触れられるこの度の催しによって、より一層音楽に興味を持って頂ければ嬉しく思います。そのご興味こそが地方の文化、ひいてはクラシック音楽界の拡がりへ欠かせないものと考えます。



7/12⑧

和歌山県が贈る「ほんもののヴァイオリン体験」

【講師】アマービレフィルハーモニー管弦楽団 ヴァイオリニスト

①11:00 ②14:00 御坊市民文化会館 大ホール 参加費 1,500円(要予約 計40名)

7月

和歌山県が贈る「ほんもののヴァイオリン体験」

国内で活躍している演奏家によるワークショップ。
「はじめての方」「勉強中」「経験者」も気軽に参加いただけます。

7月12日(日) ①11:00 ②14:00 (各約1時間)

御坊市民文化会館 大ホール

講師:アマービレフィルハーモニー管弦楽団 ヴァイオリニスト

3ページに井上隆平さんからのアーティストメッセージを掲載しています



コンサートマスター

井上隆平



天野千恵子

8月

第54回
和歌山県新人演奏会 オーディション

8月15日(土) 開演13:00(開場12:30)

和歌山城ホール 大ホール

入場料無料 (未就学児入場不可)

[オーディション合格者による輝きのステージ]

第54回 和歌山県新人演奏会

11月15日(日) 開演13:30

和歌山城ホール 大ホール

入場料1,000円

※高校生以下無料(未就学児入場不可)

クラシック音楽を学ぶ優れた若人達を広く県民に紹介し、
和歌山県の音楽文化の振興と向上を図るために開催いたします。

8月~10月

和歌山県出身アーティスト「とっておきの演奏会」
わかふるコンサート2026(全6回) すべて無料

- 1 和歌山県立医科大学附属病院玄関ロビー
8月29日(土) 開演13:30
和歌山市紀三井寺811-1
(注意)この演奏会のみ入院患者対象



- 2 四季の郷 四季さい館
9月12日(土) 開演13:30
和歌山市明王寺85
定員60名
(7/27(月)10:00~ 県民文化会館で電話のみ受付)



- 3 紀美野町「動物愛護センター」
9月26日(土) 開演13:30
紀美野町国木原372



- 4 tanabe en+(タナベ エンプラス)
10月3日(土) 開演13:30
田辺市湊41-1
定員40名
(9/3(木)10:00~ 県民文化会館で電話のみ受付)



- 5 和歌の浦「万葉館」
10月17日(土) 開演13:30
和歌山市和歌浦南3-1700-2



- 6 旧和歌山県議会議事堂「一乗閣」
10月24日(土) 開演13:30
岩出市根来2347-22
旧和歌山県議会議事堂(重要文化財)



10月

ほんもののダンスワークショップ(ブレイキン)

初心者のためのブレイクダンスワークショップ。はじめての方でも、
経験者の方にも役立つ内容満載です。どうぞお楽しみに!!

10月31日(土) 13:30~15:30

和歌山県立橋本体育館 サブアリーナ

世界最高峰のブレイクダンスチーム「MORTAL COMBAT」指導

講師:MACCHAN、RUIVO

小・中学生無料 高校生~大人500円

●電話予約/8月3日(月)10:00~

参加者大募集(先着順) 80名





ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram

主催

●和歌山県

●(一財)和歌山県文化振興財団

11月

令和8年度優秀映画鑑賞推進事業「名作シネマシアター」

11月27日(金) 上映10:30~(開場10:00)

和歌山県民文化会館 大ホール

上映作品「毎日が夏休み」「風の又三郎ガラスのmant」

前売400円(当日450円) ※全席自由(未就学児入場不可)

●一般販売/8月28日(金)10:00~



「毎日が夏休み」



「風の又三郎ガラスのmant」

12月

クリスマス/アヴェ・マリア エリザベート弦楽アンサンブル

音楽大国ハンガリーから心あたたまる「アヴェ・マリア」の調べ
清らかなソプラノと幻想的なハープ、調和する弦楽器の音色
特別なクリスマスに贈る“冬の名曲集”

J.S.バッハ、シューベルト、カッチーニ:アヴェ・マリア(ソプラノ)

J.S.バッハ:G線上のアリア、ヴィヴァルディ:「四季」より“冬” 他

12月7日(月) 開演14:00(開場13:20)

和歌山県民文化会館 大ホール

4,900円

※全席指定(未就学児入場不可)

●けんぶん友の会優先電話予約/7月21日(火)10:00~

●一般販売/7月29日(水)10:00~



12月

劇団四季ミュージカル『コーラスライン』

悔やまない 好きだからこそ

すべてを捨てて生きた日々には悔いはない

永遠のミュージカル『コーラスライン』の幕が開きます。

12月17日(木) 開演18:30(開場17:45)

和歌山県民文化会館 大ホール

S席 11,000円 A席 9,000円 B席 6,000円

※全席指定(未就学児入場不可)

●けんぶん友の会優先電話予約/8月17日(月)10:00~

●一般販売/8月25日(火)10:00~

➡2ページに「コーラスライン」の特集を掲載しています



撮影:下坂敦俊 ※写真はこれまでの公演より

令和9年
1月

チャイコフスキー・バレエ劇場「白鳥の湖」(全2幕4場)

150年にわたり人々を魅了し続けるクラシックバレエの最高傑作!

令和9年1月9日(土) 開演15:00(開場14:15)

和歌山県民文化会館 大ホール

S席 11,000円 A席 8,000円 B席 6,000円

※全席指定(未就学児入場不可)

●けんぶん友の会優先電話予約/7月15日(水)10:00~

●一般販売/7月23日(木)10:00~



和歌山県文化表彰受賞者



おかだ まさじ
医学者 **岡田 全司** さん

1949年和歌山県湯浅町出身。73年和歌山県立医科大学を首席で卒業。77年大阪大学大学院医学系研究科(第3内科学)博士号を取得。81年世界で初めてヒトT細胞ハイブリドーマを作製し、ヒトT細胞クローン確立法を樹立する。結核治療ワクチンの研究にも尽力し、多大なる功績をおさめる。



免疫学進展に寄与

地道な研究で 世界初の偉業

医学への道を初めて意識したのは、こどもの頃、天然痘ワクチンの副作用で左手麻痺の症状を示した近隣住人への有効な治療法が、大学病院でも見つからなかったという辛い話がずっと心に残っていました。

勉学に励む学生時代を送るなか、多くの感染症患者に対する新しく有効な予防・ワクチンを含む治療法が必要だと切実に感じたのが、医学部進学を決意した理由です。

1977年に大阪大学大学



当時の資料に向き合うと、研究に明け暮れた日々がよみがえります

誌に掲載され、世界初の功績として認められました。この結果を聞いた時は、一緒に研究していた皆さんと輪になり、10分以上も

回って喜びを分かち合いました。あの達成感、高揚感は今も鮮明に覚えています」

その後、インターロイキン6の発見につながるB細胞分化因子の発見など、数々の成果は、世界の免疫学進展に大きく貢献しました。「共同研究者からの支援はもとより、各国でのしを削るライバルたちの存在が私に自信を与え、活動の原動力になりました。私だけの功績ではなく、仲間と頑張つて得られた成果です」

結核ワクチン 開発にも貢献

長年継続してきたキラーT細胞分化因子の研究は、結核ワクチンの開発にも成果をもたらしました。

2005年、国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター長に就任し、翌年には大阪大学大学院医学研究科招聘教授を併任。その当時に手がけた結核治療ワクチン(HSP65DNA+1L12DNA)は、多剤耐性結核患

者に臨床応用され、結核菌が0個となる画期的な治療効果を発揮しました。一連の研究により、結核治療DNAワクチンの臨床応用が進展しつつあります。

これらの実績により、世界保健機関(WHO)の新結核薬委員を務めるなど、国際的にも高く評価されました。2026年3月に近畿中央呼吸器センターを退官しましたが、研究への熱意は衰えません。

「恩師である故・山村雄二元大阪大学総長の言葉『夢みて行い、考えて祈る』を守り、粘り強く研究・開発に没頭してきた人生でした。これからもできる範囲で研究を継続していきたいです。今後は結核ワクチンのみならず、SARS(コロナウイルス感染症)に対するキラーT細胞免疫療法の開発が目標です」



結核治療ワクチン(HSP65DNA+1L12DNA)に関する論文資料

感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

絵 画

せい こう 青甲会

80年の軌跡、過去そして未来へ

「甲町(かぶとちょう)」という場所で始まり、若い(青い)画家たちの集まりだったことからその名が付いたと伝わっています」と話すのは、現在代表を務める谷澤佐規子さん。創立80年を迎える今年は、「80年の歩み」の作成をメンバーとともに手掛けています。

毎年夏に展示会を開催し、来場者は毎回500人を超える盛況ぶり。中小作品から150号、200号といった大作まで並び、その迫力に圧倒されます。今回は記念展として、従来行っている発表作品約30点に加え、「過去・現在・未来」をサブタイトルにした特別展示も実施。「過去の作品やこどものころの作品、挑戦作など、何を持ち寄るかは会員同士も秘密なんです。和歌山を代表する画家たちの多彩な作風を、ぜひ鑑賞してほしい」と笑顔で来場を呼びかけます。

青甲会
Profile

終戦直後の混乱期である1946年に、「我々は、和歌山画壇に火をともしねばならない」と理想を掲げ、楠本峻士、中村善種、木下克巳、斎田武夫の4氏により結成。現在会員数は16人。入会基準も厳しく、現在の「県展」創設の礎を作った歴史ある会です。



見応えある作品がずらりと並びます



和歌山の美術界を牽引してきた面々

第80回 青甲会展

7月15日(水)～20日(月・祝)
10:00～17:00(最終日15:00)
県民文化会館大・中展示室で「第80回青甲会展」を開催。80回記念として来場者に「80年の歩み」を進呈(数量限定)。☎谷澤さん☎
073-424-3368

ダンス

ナオコ バレエ スタジオ Naoko Ballet Studio

心を育み、表現するバレエ

和歌山市本町にスタジオを構え、昨年節目の10年を迎えた「Naoko Ballet Studio」。毎年開催している発表会は「華やかな舞台に魅了される」と好評です。主宰であり、講師として指導しているのは、紀の川市出身の柏木直子さん。キッズコースをはじめジュニア、アッパー、大人コースを取り揃え、初心者からプロを目指す上級者まで対応しています。こどもはもちろん、大人になって習い始める方が増えているのは、同スタジオがモットーとする「育む」という思いが共感を呼んでいるから。身体をつくり、表現する楽しさを通して心を育てることを大切にしています。「私自身の経験をもとに、一人ひとりの個性やペースに合わせた指導を行っています」と直子さん。最近では、バレエの動きを取り入れたストレッチやエクササイズのリッスンもスタート。見学や体験も受け付けています。

Naoko Ballet Studio
主宰 柏木直子さん
Profile

4歳からバレエを始め東京の大学で学びながら技術と表現力を磨き、1998年イギリスへバレエ留学。さらに研鑽を積んだ後に帰郷し、2009年スクール開講。初心者からコンクール入賞者まで幅広い生徒が通っています。



2025年「コッペリア」全幕を上演



初めてでも安心。楽しくしなやかに

第14回 発表会

7月25日(土)、県民文化会館小ホールで開催。入場無料。「ドン・キホーテ」のハイライトを抜粋(3幕構成)。男性ゲスト2名を迎え、総勢25名が優雅に演じます。開始時間は要問い合わせ。☎メールinfo@nbs.cutegirl.jp(柏木さん)

県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

1,000円

文化教室や
会議、面接、
勉強会で
大人気!!

全室、有線 LAN
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!
※18名会議室12室対象

県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!
展示室15%値下

1週間

利用で

約 **4万円** [1日約5,700円]

※県内文化団体に限る(上記は特設展示室の例)



約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

ピックアップインフォメーション

片男波公園＜万葉館＞

「名草まほろば絵画展」

7月10日(金)～
10月12日(月・祝)
9:00～17:00
※最終入館16:30まで

Doi絵画教室の講師と大人の生徒による
作品展です。和歌山の四季が織り成す、美
しい風景や花を描いた色彩豊かな絵画約
28点を展示します。



土井久幸さん「春に吹く風」オイルパステル

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 9:00～17:00(入館16:30まで)
※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤入館無料

和歌山県立博物館

特別展「蘆雪生動—南紀 無量寺への旅—」 8月11日(火・祝)～9月23日(水・祝)

江戸時代の京都の画家、長沢蘆雪。愛らしい生
き物の表現やダイナミックな構図が魅力です。
蘆雪は和歌山県南部の三つの寺で180面にも
のぼる襖絵を残しており、そのすべてが重要文
化財に指定されています。三か寺のうち一つ
が、串本町にある無量寺。同寺の収蔵庫改修工
事に合わせ、生き生きと動き出すような南紀の
蘆雪画を一堂に公開する特別展を開催します。



重要文化財 虎図 長沢蘆雪蔵 無量寺蔵

※8月10日(月)まで空調機改修工事のため休館

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑥月曜(月曜
が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤特別展/一般910円(750円)、大学生
570円(450円) ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立紀伊風土記の丘

チャレンジ! ジュニア学芸員 募集中

小・中学生による和歌山県内の考古学や民俗学
をテーマにした研究を募集。夏休みの自由研究
や学校の総合学習で考古学や民俗学の研究に
挑戦しませんか? 今年度の応募作品は県立図書
館等に展示し、優秀作品は表彰します。



■対象:小学生・中学生 ■募集期間:11月14日まで ■募集内容:和歌山県内の考古学や歴史学・民
俗学に関係する自由研究の成果で、学校外で未発表のもの ■部門:[個人研究部門]小学生の部/中
学生の部 [団体研究部門]学校・学年・学級・部活動等 ■応募形態:レポート・歴史新聞など形態自由

ボランティアによる園内の古墳や民家ガイドも実施中

■詳細はホームページ(<https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>)

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 9:00～16:30(民家見学は16:15まで) ⑥月曜
(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ※資料館は新館建設のため令和10年
度上期頃まで休館中。園内は資料館および一部工事業アリアを除き、引き続きご利用いただけます

和歌山県立近代美術館

「なつやすみの美術館16 もしも“美術”がなかったら」

7月11日(土)～9月27日(日)

あたりまえに思っている「美術」。その前提がなかった
ら私たちはこの世界をどうやって捉えるのでしょうか。学
校教育とも連携し、多様なコレクションを中心に、美
術と美術館の楽しみ方を伝えるシリーズ展です。



日野田崇(新しい家族)2023年 和歌山県立近代美術館蔵 Photo:福永一夫

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑥月曜(月曜
が休日の場合は翌平日) ⑤一般600円(480円)、大学生330円(290円) 8/4から開催の
「MOMAWコレクション 絵画と彫刻」も観覧可能、7/20まで開催の「下村観山展」チケット(一般
1,500円/大学生1,000円)でも観覧可能 ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引
あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

特別展「大力エル展」

7月11日(土)～8月30日(日)

北海道から沖縄まで、日本産カエル類
全54種(亜種)が大集合。身近なツチ
ガエル、トノサマガエルをはじめ、珍し
いオオヒキガエル、ヒメタゴガエルな
ど、色々なカエルを一度に見ることが
できます。標本や生体を通して、カエルの
不思議な魅力を紹介します。



■開催場所:和歌山県立自然博物館 レクチャールーム

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑥月曜(月曜が
休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤一般480円(350円) ※高校生以下、65
歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

紀州高野紙伝承体験資料館 紙遊苑

伝統の紙漉き体験

弘法大師空海が教えたと言われる手漉き和
紙「高野紙(古沢紙)」。その歴史と技術を
伝えるのが体験資料館「紙遊苑」です。紙
漉きが栄えていたころの風景を表現した
ジオラマや、和紙でできた風や和紙づく
りに関する様々な資料を展示。紙漉き体験
も可能で、入門コースと丸一日本格コース
があります。毎年、和紙をテーマとした「民
芸和風展」「アサガオ展」などを開催。



伊都郡九度山町慈尊院749-6 ☎0736-54-3484 9:00～16:30(入館16:00まで) ⑥月
曜・火曜(祝日の場合開館)、年末年始(12/28～1/4) ⑤入館無料 紙漉き体験(要予約)/【入
門コース】はがき大[3枚1組]300円(250円)、色紙大[1枚]300円(250円)、A3大[1枚]400円
(300円) ※団体割引あり(20名以上) 【丸一日本格体験コース】5,000円 ※1日3名限定

けんぶん友の会のご案内

うれしい会員特典

- ☆入会金・年会費「無料」
- ☆主催公演チケットの
優先予約
- ☆文化情報の発送(年4回)



その他特典も! 詳しくはお問い合わせください。

大規模改修工事期間が変更になり
令和10(2028)年 3月31日まで通常営業中



問合せ 和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331

※ 表紙のひと ※



ピアニスト

反保 美咲 さん

TAMPO MISAKI

和歌山市出身。同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻卒業。ドイツ国
立シュトゥットガルト音楽演劇大学を経て、ドイツ国立トロツィンゲン音楽
大学大学院を最優秀の成績で修了。第43回和歌山県新人演奏会特別奨励
賞受賞。クラビス国際ピアノコンクール2022(ドイツ)1位。第32回バルレツ
タ市国際音楽コンクール(イタリア)1位・古典ソナタ賞。第4回ウィーン・ヴィ
ルトゥース音楽コンクール(オーストリア)1位・ベストパフォーマンス賞。そ
他多数のコンクールで入賞。国内外で演奏活動の後、2025年に完全帰国。



和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/<http://www.wacaf.or.jp>

2026年7・8・9月号 令和8年7月発行 Vol.120

Waca.p

※本冊子掲載の情報は令和8年6月8日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、
お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。